



学校教育目標

夢と希望をいだき

未来を築こう おうむっ子

- ◆思いやりのある子
- ◆ねばり強い子
- ◆元気いっぱいの子
- ◆進んで考える子

重点目標「基礎的・基本的な学力の定着とコミュニケーション能力の育成」

9月1日は「防災の日」日頃の備えが……

雄武町立雄武小学校長 佐々木 寿彦

9月は和名だと「長月（ながつき）」と言います。これは、日に日に夜が長くなっていく「夜長月」が由来だそうです。つい先日までは、熱中症を心配するほど暑い日が続いていましたが、この頃朝夕はめっきり涼しくなりました。夕方は太陽が沈むのも早くなってきましたね。

さて、今から102年前の大正12(1923)年9月1日に南関東を中心にマグニチュード7.9の「関東大震災」と言われる大地震が起こりました。

午前11時58分に発生し、お昼ご飯の準備をしていたので火災による被害も大きかったそうです。

毎年この時期に多くの学校で避難訓練が行われています。本校でも、9月4日(木)に「1日防災学校」として、全校で避難訓練を実施した後、各学年毎に、雄武町役場、雄武消防支所、網走气象台、オホーツク教育局などの協力を得ながら、防災の学習をしました。



避難には、火災や地震など、災害によって避難の仕方が違います。本校のように海の近くにある学校では、津波による避難の仕方を訓練していますが、山や崖の近くに立っている学校では、土砂災害での避難の仕方も訓練しているそうです。火災や地震のときにはグラウンド等、屋外に避難しますが、津波や土砂災害では、校舎の上の方の階に上がる「垂直避難」という仕方で身を守ります。

災害はいつ起きるかわかりません。学校で繰り返し行っている訓練は、学校にいるときだけのためではありません。学校にいるときは、必ず私たちが子供たちを守ります。しかし、子供たちの生活は学校だけではありません。休みの日や放課後に遊びや買い物に出かけたとき、旅行に行ったときなど、一人や家族と一緒に過ごすことも多いと思います。そのため、是非「自分の命は自分で守る」という強い気持ちを持って欲しいと思います。

保護者の皆様には、災害が起きたとき、吹雪のとき、昨今では道内外で熊の出没のニュースが聞かれますが、もし学校周辺、通学路に出没したとき、その他子供たちの安全な下校が確保できないときにはお迎えをお願いすることがあります。引き渡しが無事に終わりますようご協力をお願いいたします。また、通学路で危険な場所に気付かれたときには学校にお知らせください。町等に改善を要望していきたいと思います。

災害、被害に遭わないことが一番ですが、もしものときに慌てずに行動できるように普段からの備えが大切ですね。備蓄食料や防災バッグの用意、避難時の待ち合わせ場所など家族で共通理解をこの機会にしてはどうでしょうか。

10月の行事予定		
1	水	全校朝会 児童会
2	木	配本日
3	金	校舎外清掃
4	土	北海道 PTA 連合会稚内大会
5	日	
6	月	職員会議 清掃カット (校舎外清掃予備日)
7	火	雄教振交流事業委員会
8	水	読み聞かせ
9	木	就学時健診
10	金	雄教振小中高連携委員会 定時退勤日
11	土	
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	雄武町特別支援委員会
15	水	秋の輸送繁忙期の交通安全運動～24(金)
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	清掃カット 研修日
21	火	雄教振 ICT 活用委員会
22	水	読み聞かせ
23	木	
24	金	定時退勤日
25	土	学芸会
26	日	
27	月	振替休業日
28	火	
29	水	クラブ④
30	木	
31	金	英検 E S G

災害に備えて

「1日防災学校」で、1年生は警察車両、消防車両にらせてもらうなど、学年に応じた防災の勉強をしました。



暑い日はプール最高!

7月からスタートした今年の水泳学習も今月初旬をもって無事終了しました。低学年は様々な水遊びをとおして、水に親しみ、多くの子供たちが水中に顔をつけても平気になりました。中学年は更に潜ったり、泳いだりの練習をしました。高学年は速く泳いだり、楽に泳いだりできる水泳に取り組みました。暑い日が多かったので、気持ちいい時間だったと思います。(残念ながら性被害防止のため写真がありません。ご容赦ください m(_ _)m)



自分の身を守る!

9月1日(月)、Go! Go! 市民防犯推進プロジェクトの武田信彦氏に講師をお願いして、オンライン『防犯教室』を実施しました。

『いかのおすし』。「ついて①か②ない、車に③のらない、④お声を出す(防犯ブザー等も有効)、⑤ぐ逃げる、大人に⑥しらせる」のほか、歩いている途中や玄関に入るときに襲われないように、素早く後ろを振り返ることを実際にやってみたり、棒状にした新聞紙を使って相手から手が届かない適切な人との距離感を体験したりしました。

併せて、SNSなどインターネットを活用したコミュニケーションにおける留意点、いじめに発展する恐さについても教えていただきました。私たち大人も発信や書き込みには気をつけなければいけませんね。



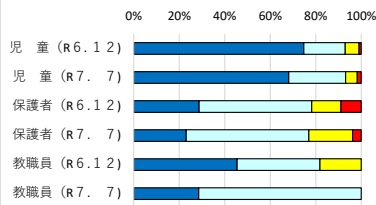
持ち物等に記名を!

落とし物が結構あります。各学級に回して落とし主を探すのですが、誰の物かわからないことがよくあります。常日頃から様々なご協力をいただいておりますが、前期を終えるにあたり、改めて持ち物に記名をお願いいたします。

学校評価アンケート結果（令和7年7月実施）

宿題の提出や家庭学習の習慣化

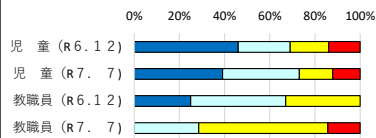
	A	B	C	D
児童（R6.12）	74%	18%	6%	1%
児童（R7.7）	68%	25%	5%	2%
保護者（R6.12）	29%	50%	13%	9%
保護者（R7.7）	23%	54%	19%	4%
教職員（R6.12）	45%	36%	18%	0%
教職員（R7.7）	29%	71%	0%	0%



児童のA評価が多いのが特徴的です。高い自己評価を今後の意欲につなげるとともに、学年が上がるにつれ家庭学習の習慣化や質の向上につながるように今後も継続した指導が必要です。

読書習慣の定着

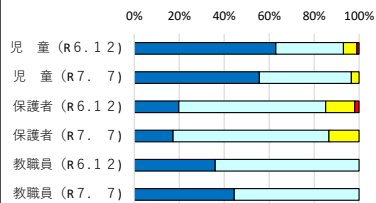
	A	B	C	D
児童（R6.12）	46%	23%	17%	14%
児童（R7.7）	39%	34%	15%	12%
教職員（R6.12）	25%	42%	33%	0%
教職員（R7.7）	0%	29%	57%	14%



職員評価ではAが0%、Dが14%となりました。時代背景的なものがありますが、なかなか学校全体としての取組とはなっていないのでいたしかたないところがないかもしれません。

授業がよくわかる・「よくわかる」授業づくり

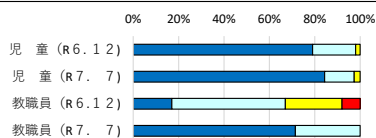
	A	B	C	D
児童（R6.12）	63%	30%	6%	1%
児童（R7.7）	56%	41%	3%	0%
保護者（R6.12）	20%	66%	13%	2%
保護者（R7.7）	17%	69%	13%	0%
教職員（R6.12）	36%	64%	0%	0%
教職員（R7.7）	44%	56%	0%	0%



前回までと大きく変わりませんが、職員のA評価が伸びているのはいい傾向だと考えます。現行学習指導要領で重点とされている「協働的な学び」「個別最適な学び」の充実させていく必要があります。

タブレット等のICT端末の活用について

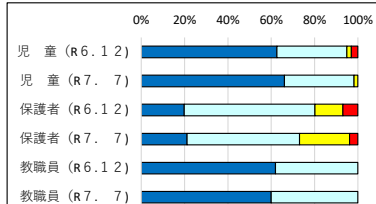
	A	B	C	D
児童（R6.12）	79%	19%	2%	0%
児童（R7.7）	84%	13%	3%	0%
教職員（R6.12）	17%	50%	25%	8%
教職員（R7.7）	71%	29%	0%	0%



タブレットの活用については前年度よりも活用がすすんできているという職員の回答がかなり増えました。研修部でも実技研を何度か行っていることもあり、積極的な活用につながったのではと考えます。後期は次年度に向け電子黒板の活用についても研修を深めるのもよいと思います。

進んでチャレンジ・挑戦意欲を高める働きかけ

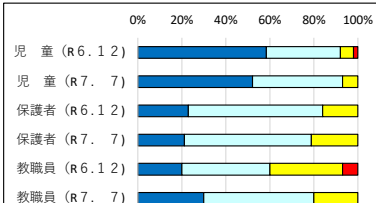
	A	B	C	D
児童（R6.12）	62%	32%	2%	3%
児童（R7.7）	66%	32%	2%	0%
保護者（R6.12）	20%	61%	13%	7%
保護者（R7.7）	21%	52%	23%	4%
教職員（R6.12）	62%	38%	0%	0%
教職員（R7.7）	60%	40%	0%	0%



前回とほぼ同様の結果となりました。児童も職員もA・B回答が多かったのですが、保護者はD評価は減ったもののC・D評価の合計が増えました。取組・指導を継続するとともに家庭への発信も更にしていこうと考えています。

あいさつ・挨拶と言葉遣いの指導

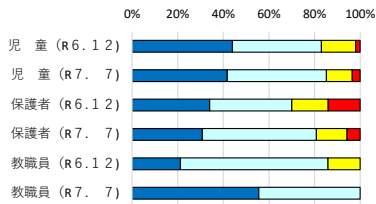
	A	B	C	D
児童（R6.12）	59%	34%	6%	2%
児童（R7.7）	52%	41%	7%	0%
保護者（R6.12）	23%	61%	16%	0%
保護者（R7.7）	21%	58%	21%	0%
教職員（R6.12）	20%	40%	33%	7%
教職員（R7.7）	30%	50%	20%	0%



児童も職員もD評価がなくなりました。以前言葉遣いについての確認がありましたが、日常的に児童がどのような言葉遣いや挨拶について留意してほしいと思います。また来客への挨拶もしっかりできるとよいと思います。

「早寝早起き朝ごはん」・基本的生活習慣の定着

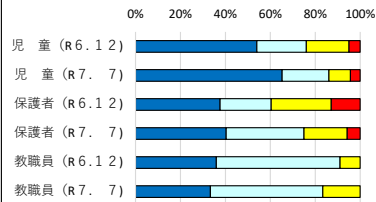
	A	B	C	D
児 童 (R6.12)	44%	39%	15%	2%
児 童 (R7.7)	42%	43%	11%	3%
保護者 (R6.12)	34%	36%	16%	14%
保護者 (R7.7)	31%	50%	13%	6%
教職員 (R6.12)	21%	64%	14%	0%
教職員 (R7.7)	56%	44%	0%	0%



保護者のA評価は減ったものの、全体としてA B評価の合計が増えました。基本的な生活習慣の定着に向けては家庭との連携が不可欠なので、今後も理解と協力を得ながら指導にあたりたいと思います。

進んで運動・体力づくり

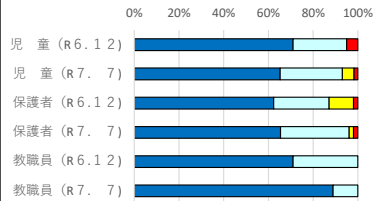
	A	B	C	D
児 童 (R6.12)	54%	22%	19%	5%
児 童 (R7.7)	65%	21%	10%	4%
保護者 (R6.12)	38%	23%	27%	13%
保護者 (R7.7)	40%	35%	19%	6%
教職員 (R6.12)	36%	55%	9%	0%
教職員 (R7.7)	33%	50%	17%	0%



児童のA評価が増えたこと、保護者のD評価が少なくなったことから体力づくりへの意識が高まってきていると思います。今年度夏は高温の日が何度かあり外遊びを制限した時もありましたが、職員と一緒にグラウンドや外の遊具、体育館での遊びをしていただいているのいい影響を与えていると思います。

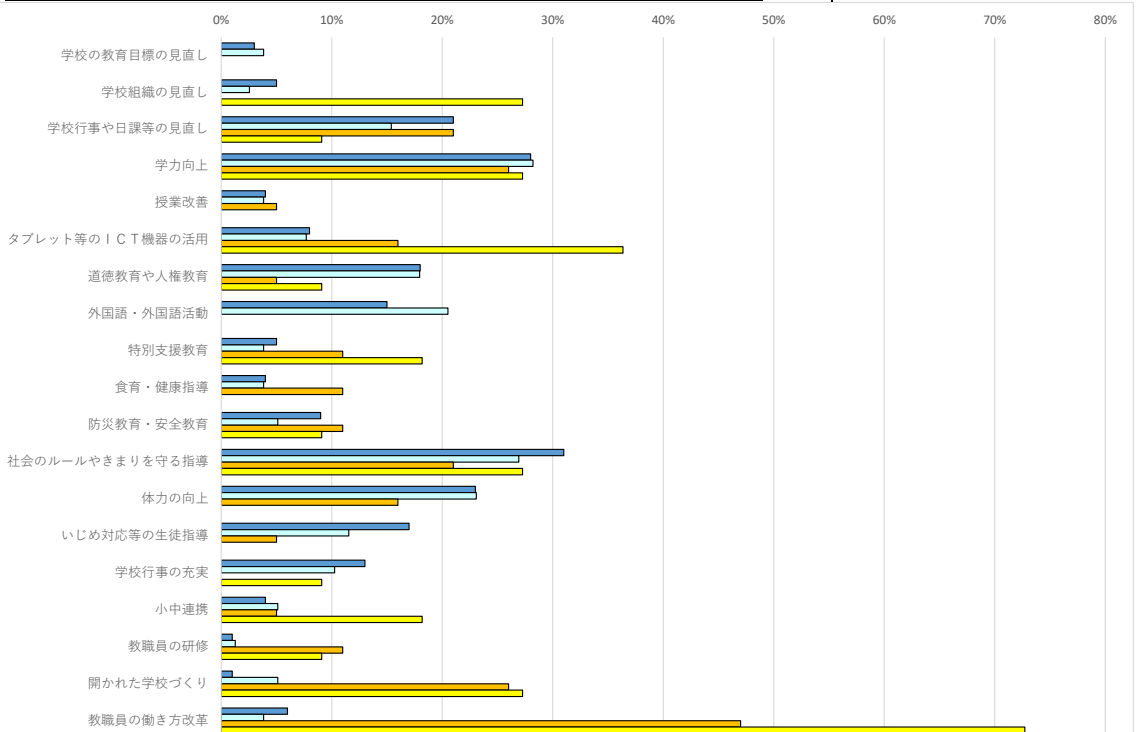
学校生活が楽しい・いじめ防止の取組

	A	B	C	D
児 童 (R6.12)	71%	24%	0%	5%
児 童 (R7.7)	65%	28%	5%	2%
保護者 (R6.12)	63%	25%	11%	2%
保護者 (R7.7)	65%	31%	2%	2%
教職員 (R6.12)	71%	29%	0%	0%
教職員 (R7.7)	89%	11%	0%	0%



三者ともA評価が多い結果となりました。児童と保護者の評価が高いことは職員の指導が評価されている表れだと考えます。上記の設問の欄に記載した取組等が徹底することはいじめ防止に有効だと考えます。

今後力を入れていべき取組について



【自由記述欄より】

◎ 雄武小の教育活動で、子ども達が伸びている、頑張っていると感じることをお書きください。

- ・学校生活があまり見えないのでわからない。
- ・宿題が多いと感じますが、毎日同じような量で日課になっているのがいいと思います。少しづつ量を増やしても問題ないくらいにはできるようになっていると思います。
- ・いろいろなことに挑戦する力を身につけることができてきていると思います。
- ・行事などでの団結力、協力しあう力、友達を思いやる気持ち等
- ・毎日宿題が出るので、机に向かって学習する習慣が身に付いてきていること。
- ・一つの事にみんなで協力して頑張っている
- ・仲間意識を高く持ち、話し合い等みんなで協力して問題解決。
- ・家での宿題
- ・本を読むこと
- ・鉄棒や水泳など苦手意識がある運動は学校の授業後、家庭で目を輝かせながら「できた」を教えてください。

【その他】

- ・学力があまり身についておらず、つまづくことが多い。フォローアップをしっかりとほしい。
- ・いつも子供たちに寄り添い、教育していただいている先生方には感謝しています。これからもよろしくお願いします。
- ・修学旅行西イオン考えてほしい
- ・運動会の全校リレー、いろいろ説明を聞いたけど、やっぱり無くなってしまった理由等分からず、無くす前に全児童(家庭)アンケートをとって欲しかったです。重要なことは、アンケートが有ると良いと思いました。
- ・特にないです

時節柄ご多用の中、学校評価アンケートにご回答いただき、誠にありがとうございました。昨年12月の同アンケートでの回答率は約56%でしたが、今回は約54%となっており、多くの皆様からのご回答をいただけたことに感謝申し上げます。

今回の学校評価の集計については上記のようになっております。
この結果をみると、今回も概ねAB評価が多く、高評価いただけていることに学校としてたいへんありがたく思っております。B評価やCD評価が多い項目が今後改善が必要な項目となります。「挑戦意欲を高める働きかけ」「挨拶と言葉遣いの指導」「体力づくり」などがそれにあたります。これらについては学校としても改善の意識を向上させるとともに学校全体としての具体的な方策を検討しながら、子供たちの可能性を高めることや学年に応じた力を育てることができるよう、学習指導・生活指導の充実に努めてまいります。

また前期同様「学力向上」「道徳教育や人権教育」「社会のルールやきまりを守る指導」に力を入れてほしいという保護者の願いが強いことも分かりました。これからの新しい社会の担い手となる子供たちにしっかりとそのような道徳的な規範が身につくような指導をしっかりと行っていきます。

最後に教職員の「働き方改革」ですが、これは「教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすること」を目的としております。これまで同様保護者・地域の皆様のご理解とご協力を得ながら、今後の学校運営・教育活動が充実したものになる改革をより一層推進してまいります。今後とも温かなご支援・ご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。